

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第119回

『「First Contact Team」 ～ 自由に、立ち寄れる相談の場 ～』

2022年7月16日午前 早稲田大学オープンカレッジ夏講座『がんと生きる哲学』に赴いた。テキスト：『がん細胞から学んだ生き方 「ほっとけ 気にするな」のがん哲学』（へるす出版）を音読しながら進めた。受講者との大変、充実した貴重な時が与えられた。午後は、『お茶の水メディカルカフェ』に向かった（画像1）。『お茶の水メディカルカフェ』は、今年は、10周年である。継続の大切さを痛感する日々である。今回は、『First Contact Team;ファースト コンタクト チーム』の存在意義と日本初の開設の話で大いに盛り上がった。

想えば、2014年3月に、筆者は、『がん哲学カフェ in UK & 緩和ケアの祖を訪ねる旅』（毎日新聞夕刊 3月24日付け 「がん哲学外来」海を越えて）で、イギリスを訪問した。3月24日は、緩和ケアの発祥である St. Joseph's hospice の見学・セミナーに出席した。特に「患者視点のチーム医療」の在り方である「First Contact Team」、「Volunteering」のコンセプト&内容には、大いなる感動を覚えたものである。3月25日は、日本国大使館をwifeと訪問し、大使と医務官と面談した。その後、Charing Cross Hospital の敷地内にある Maggie's Centre を訪問した。「自由に、ふらーと立ち寄れる相談の場」の存在の目的と意義を学んだ。3月26日は、現代ホスピスの祖と言われる Cicely Saunders (シシリー・ソンドース;1918~2005) が始めた St. Christopher's hospice の見学・セミナーに出席した。特に「Nursing」、「Social Work & Bereavement (死別)」について教育の大切さを学んだ。その後、ロンドン大学で、Death Café の提唱者のお話を聴き、そして、6~7名の小テーブルに別れて対話し、休憩を挟み、筆者は、講演『がん哲学 ~ われ 21世紀の新渡戸稲造(1862~1933)とならん ~」(Cancer Philosophy ~I want to become the Nitobe Inazo of the 21 century~)』の機会が与えられた(画像2)。会場一杯で、「がん哲学 & 新渡戸稲造」の話を熱心に、聴いて下さった。「がん哲学 & 新渡戸稲造」は、現代の世界情勢と、混迷感のある時代において、日本国の存在を語るのに、極めて良いテーマであると、実感する時ともなった。今年は、新渡戸稲造生誕160周年である。各地で、講演会、シンポジウム、さらに映画製作が企画されているようである。「不思議な人生の不連続の連続性」を実感する。



<がん哲学外来>

お茶の水メディカル・カフェ in Occ

開催予定: 下記は予定であり日程は変更する
可能性があります。

*参加の際は必ずお申し込みをお願いいたします。
(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
定員 35 名と限定させていただきます)

2021年~2022年

- 第1回 12月 11日(土)13:00~
- 第5回 4月 23日(土)13:00~
- 第6回 5月 28日(土)13:00~
- 第7回 6月 25日(土)13:00~
- 第8回 7月 23日(土)13:00~
- 第9回 8月 27日(土)13:00~
- 第10回 9月 24日(土)13:00~
- 第11回 10月 22日(土)13:00~
- 第12回 11月 26日(土)13:00~
- 第13回 12月 17日(土)13:00~

2023年

- 第14回 1月 7日(土)13:00~
- 第15回 2月 25日(土)13:00~
- 第16回 3月 18日(土)13:00~
- 第17回 4月 22日(土)13:00~

OCC メディカル・カフェ
を再開しました。



順天堂大学名誉教授
一般社団法人がん哲学外来理事長
樋野 興夫

<参加費無料・必ず事前にお申し込みください>

申し込み方法: mail もしくは FAX でお申し込みください。

Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com
Fax: 03-3296-1010

*お申込み時に必ずお名前と当日に連絡のつく
お電話番号をお知らせください。

会場: お茶の水クリスチャン・センター

新型コロナウイルス感染症対策
についてのご協力をお願い

マスク着用、検温、手指の消毒に
ご協力をお願いいたします。定期的
に換気をさせていただきます。

*各回とも開催日の2週間前からお申し込みを受け付けております

主催: お茶の水メディカル・カフェ 共催: お茶の水クリスチャン・センター
後援: 一般社団法人 がん哲学外来

Death Café followed by Cancer Philosophy Lecture

This is the first collaboration of Death cafe in UK and Cancer Philosophy Clinic in Japan.

"Cancer Philosophy Clinic" was set up in 2008 where cancer patients and their families can talk about philosophical matters like seeking the meaning of life, and also the meaning of cancer for them in a relaxed atmosphere by drinking tea or coffee. The idea of "Cancer Philosophy Clinic" has now spread all over Japan. Dr. Hino, the founder, also gives lectures on how he has found his own philosophy: seeing society from the views of a cancer cell.

"Death Café" is a discussion group rather than a grief support or counseling session, and its aim is to increase awareness of death with a view to helping people make the most of their finite lives. Mr. Jon Underwood has dedicated his time to spread the idea of Death cafe since 2010.

The event is free



Come, relax, and talk about
dying, death and life.

Up to 30people

Send email for booking
(name and address)

info@gantetsugaku.org

☆ Further information ☆

about "Death café" ⇒ www.deathcafe.com

about "Cancer Philosophy Clinic" ⇒ www.gantetsugaku.org

Date and Time schedule

March 26, 2014 (WED) Door open 18:00

☆ 18:15~19:50 Death Café

Facilitator

Mr. Jon Underwood

The founder of Death café in U.K.

☆ 20:00~21:00 Lecture

"Cancer Philosophy"

~ I want to become the Nitobe Inazo (1862~1933)
of the 21st century ~

Speaker

Okio Hino, M.D., Ph.D.

The founder of Cancer Philosophy Clinic
Prof. Department of Pathology and
Oncology, Juntendo University
School of Medicine, Tokyo



- Place -

Room No 101, Birkbeck, University of London



Room No 101,
Birkbeck, University of London,
30 Russell Square, Bloomsbury,
London, WC1B 5DP

☆ Contact MI 07951-191845 (Ms. Nakamura PM 6:00 ~ PM 9:00)